

# 河川事業

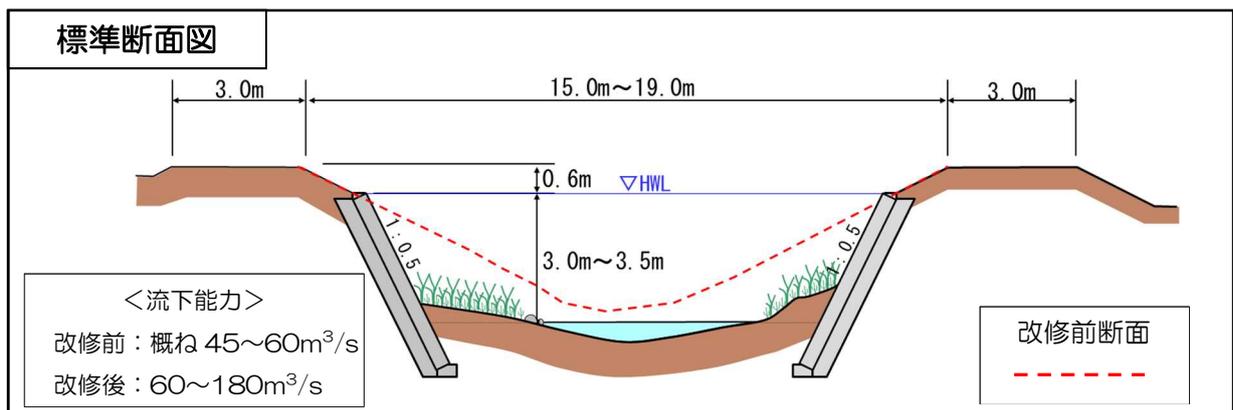
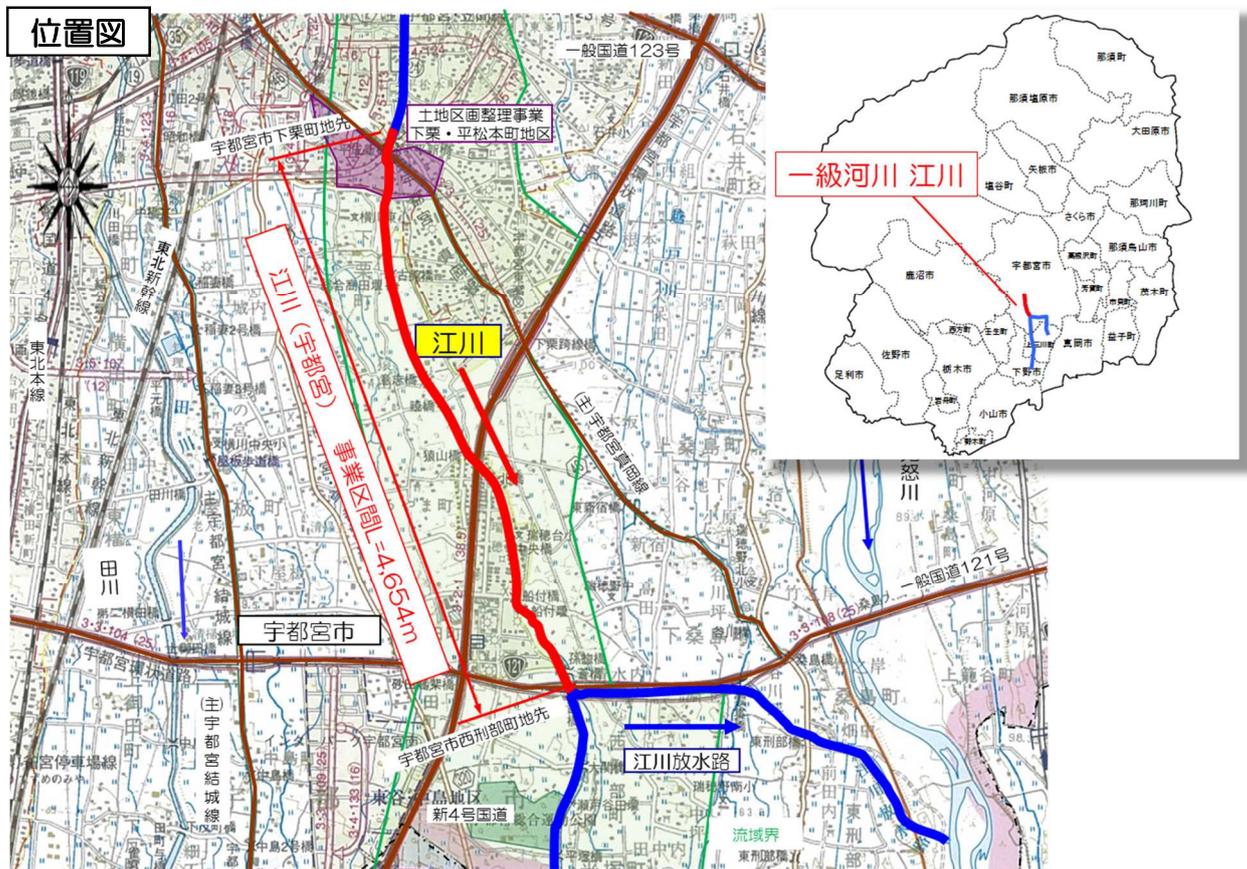
えがわ にしおさかべ しもぐり  
一級河川 江川 西刑部・下栗工区

(平成27(2015)年6月 完成)

## 1 事業概要

江川は、宇都宮市の北東部に源を発し、宇都宮市の東部市街地を流下し、上三川町を経て、下野市で鬼怒川に合流する一級河川である。

上流域では特に市街化が著しく、河道断面も狭小であったため、豪雨時には宅地や道路などの浸水被害が生じていた。このため、栃木県では、氾濫防止及び浸水被害の軽減を図ることを目的として、鬼怒川への放水路を整備するとともに、平成9年度から平成27年度までの19ヶ年で「安全な川づくり事業」による河川整備を実施した。



- ◆ 事業名 : 安全な川づくり事業
- ◆ 事業主体 : 栃木県
- ◆ 事業箇所 : 一級河川 江川 (宇都宮)  
宇都宮市西<sup>にしおさかへまち</sup>刑部町地先～下<sup>しもぐりまち</sup>栗町地先
- ◆ 事業延長 : L=4,654m
- ◆ 総事業費 : 約26.5億円
- ◆ 事業期間 : 平成9年度～平成27年度

## 2 事業の目的・必要性

### 浸水被害の軽減

豪雨時には流下能力の不足により宅地や道路などに浸水被害が生じていた。このため、「浸水被害の軽減」を目的に河川整備を実施し、河川断面の拡大を図った。

#### <過去の出水状況>

昭和61年洪水（下栗町付近）



昭和61年洪水（下栗町付近）



## 3 事業の整備効果等

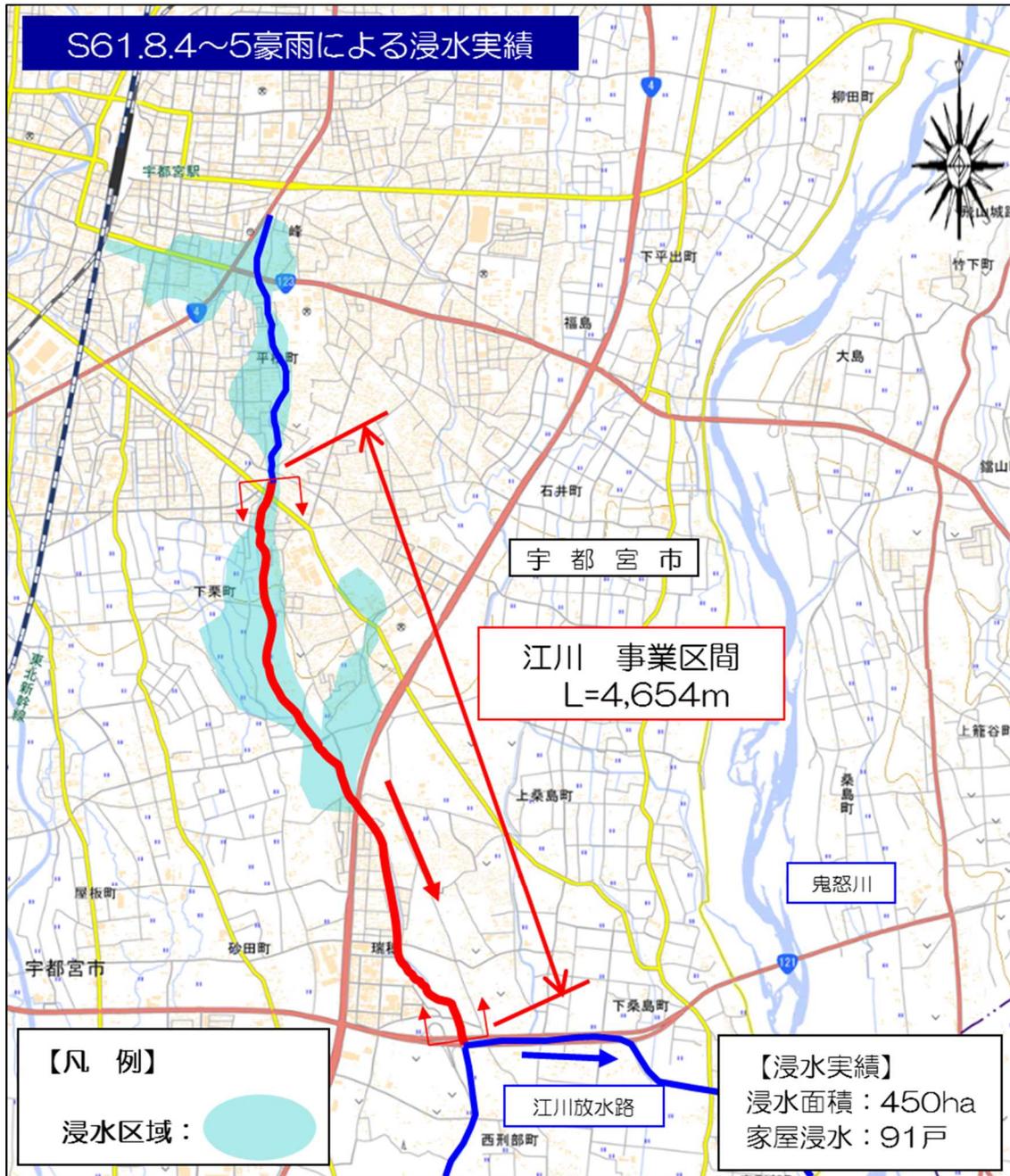
### 計画規模の洪水に対する浸水被害の解消

河川断面の拡大により流下能力が向上し、計画規模である昭和61年8月降雨と同規模の洪水を安全に流下させることが可能となった。平成27年関東・東北豪雨及び令和元年東日本台風時においても、浸水被害はなかった。

#### <河川断面の拡大>



<浸水実績図>



その他の洪水実績

洪水実績	発生年月日	浸水面積 (ha)	家屋浸水 (戸)
平成 10 年 台風第5号	H10.9.15~16	3.8	0
平成 16 年 台風第 22 号	H16.10.8~9	0.7	0
平成 27 年 関東・東北豪雨	H27.9.9~10	0	0
令和元年東日本台風	R元.10.11~13	0	0

## 4 地元の声・ヒアリング結果

江川の河川改修事業の効果について、地域自治会や地域活動団体、水防団体にヒアリング調査を実施した。(ヒアリング対象/沿川3自治会、1地域団体、2水防団(消防団))

### ① 河川改修による安全面の変化について

- 改修前は田んぼへの氾濫があったが、改修後は非常に安心できるようになった。(水防団)
- 令和元年東日本台風等の大規模災害を経験し、急勾配の法面は望ましくないが整備してくれたことに感謝している。(地域団体)
- 令和元年東日本台風等の際、多くの方が避難したが、江川沿川より田川沿川の住民の方が多かった。(自治会)
- 河川沿いの見通しが改善され、川沿いの人通りが増え、河川周辺の治安面が向上した。(地域団体)

### ② 河川との関わりの変化について

- 河川沿いは林のようだったが、改修され朝夕の散歩する人や河川の状況を普段から気にする方が増加した。(自治会)
- ボランティアによる除草等の維持管理作業の効率が向上した。(地域団体)
- 夏祭りなどを河川沿川で実施している地区もあり、イベントなどで生活の中に河川が取り入れられている。(自治会)

### ③ 河川の自然環境面の変化について

- ブロック護岸整備によって生物生息環境の悪化を懸念したが、整備後5年が経過し、砂州等の自然環境が回復してきたと感じる。(地域団体)
- カワセミが江川で目撃された。川に魚が戻ってきていることが分かる。(地域団体)
- 河川への不法投棄が減少した。(地域団体)

### ④ その他河川に関する自由意見

- 河川に関する防災情報について県や市から地域に対して出前講座など知識を深める機会があるとよい。(自治会)
- 河川管理者による堤防除草の回数を増やしてほしい。樹木伐採は行政で対応してほしい。(自治会)

## 5 今後の事後評価の必要性及び改善措置の必要性

本事業の整備に伴い、河川の氾濫防止、浸水被害の軽減等の効果が発現していることが確認できた。また、河川周辺住民のヒアリング調査から、事業の目的を達成する効果に加え、河川にふれあう機会の増加や維持管理効率の向上等、整備による副次的効果を確認できた。このことから、今後の事後評価の必要性はないと考えている。

一方、ヒアリング調査における意見のうち、「河川管理者と地域で河川防災情報の共有」や「河川管理者による堤防除草の回数の増」など防災や維持管理面での意見については、宇都宮市や地域住民と協議し対応していく。

## 6 同種事業への反映

本事業においては、河川断面の拡大により流下能力を向上させ浸水被害の軽減を図るとともに、沿川の土地利用の状況に配慮した整備を行った。

特に、市街地部の親水空間の整備により河川利用の増加がみられたことから、今後の同種事業の計画策定に当たっては、防災・減災のための河川整備に合わせ、良好な河川環境の保全・創出に努めるとともに、維持管理作業の効率化につながる整備手法を検討し、安全・安心な川づくり、豊かで美しい水環境の形成に役立てていく。



現在の江川の様子（瑞穂台小学校付近）

栃木県 県土整備部 河川課

TEL : 028-623-2444 FAX : 028-623-2441

HP : <https://www.pref.tochigi.lg.jp/h06/index.html>

E-mail : [kasen@pref.tochigi.lg.jp](mailto:kasen@pref.tochigi.lg.jp)

VERY  
GOOD  
LOCAL  
とちぎ